

所 報

第 38 号 1999年 7 月発行
発 行 人 津嘉山 朝 祥
発 行 所 沖縄県立教育センター
〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀587番地
電 話 098-933-7555
F A X 098-933-3233

あ い さ つ

所長 津嘉山 朝祥



梅雨明けの強い日差しが、摩文仁を目指して南部路を行く遺族「第38回平和祈願大行進」団に容赦なく照りつけ、吹き出す汗の滴が平和への決意を新たにす「沖縄全戦没者追悼式」も終

え、いよいよ空と海の青さが映える夏本番を迎える頃となりましたが、みなさまには益々ご健勝のこととお察し申し上げます。

さて、去る6月3日文部省は来年4月から前倒しして実施する学習指導要領の移行措置のため告示を官報に公示し、新学習指導要領の柱である「総合的な学習の時間」を来年度から先行実施できるようにしたほか、授業の一単位時間の弾力化、個に応じた指導を進めることなど、総則に盛り込まれた内容をほぼ各校種で実施すること等とした移行措置が告示されました。

また、6月9日には生涯学習審議会が”塾”が学校教育を補完する役割を認め「学習塾を学校外の教育と位置づけ、学校と連携し、子供たちの考える力を育てる学習の実施を促す・・・」等の答申がなされ、文部省として初めて学習塾を認知致しました。

さらには、学校を高齢者との交流の場とするため、福祉施設等と学校を併設する複合化政策を積極的に勧め、学校施設の在り方を見直す方針を決め、その方針を示すこととしております。

こうした動向に接するにつれ、まさに今21世紀の教育の在り方を抜本的に改めようとする「教育改革」の大波がひたひたと押し寄せ、変化への対応が早急に求められていることが実感される昨今であります。

ところで本教育センターの重要な役割の一つに「我が国の教育の動向を把握し、県の教育主要施策等を踏まえ、今日の教育課題を明らかにし、学校現場にその具体的な解決方策等を提示し、支援することである・・・」（調査研究活動）があります。

教育改革のまっただ中であって、学校現場が多岐茫洋とし、豊かな情報の発信と適切な支援・援助が求められている今こそ、教育センターの真価が問われている感が致します。

この所報が、当センターの研究成果や豊かな情報等を広く関係者の皆様に広報し、今日の教育課題等を考える”糸口を示唆する窓口”にでもなりますよう、充実した所報の発行ができればと考えております。ご一読願えれば幸いです。

目 次

所長あいさつ	1 -
研究室だより	
【情報処理教育課】	
「インターネットで教育情報をGETしよう」	2 -
「衛星通信研修講座のごあんない」	3 -
【産業教育課】	
「バイオ研究室・食品分析研究室の取り組み」	4 -
―「自ら学び自ら考える力」「生きる力」を育む―	
【特殊教育課】	
「障害児の教育相談」	6 -
― 障害のある子供ひとりひとりのニーズにあった教育を求めて ―	
平成10年度教育センター刊行物案内	8 -

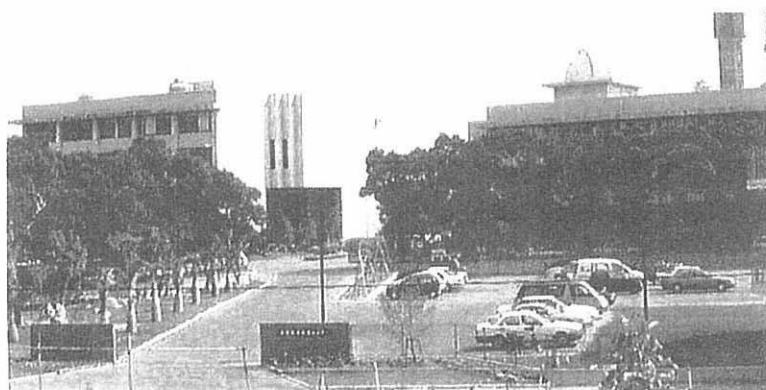
インターネットで

教育情報をGETしよう

情報処理教育課 砂 川 恵 重

7月1日に、県立教育センターホームページの内容充実を図りました。センターの研修講座の情報や教育関係の情報を利用することができます。ただし、文字枠の中が無地の部分は未完成のボタンです。今後、さらに内容を追加して、充実させていく計画です。

(URL) <http://www.edu-c.pref.okinawa.jp>



県立教育センター
ホームページ

利用案内

総合案内

各課紹介

県内学校リンク

最新情報

教育情報

交通案内

県立教育センターホームページの内容

総合案内

所長あいさつ

沿革

運営方針

組織図

研修案内

各課紹介

教育経営研修課

教科研修課

理科研修課

情報処理教育課

特殊教育研修課

産業教育課

教育情報

教育情報
データベース

へき地教育
データベース

横断検索

最新情報

研修応募
情報

総合的な
学習資料

事業状況

☆パソコン通信のお知らせ☆

教育センターでは、センターのコンピュータと電話で接続（パソコン通信）し、インターネットなどを利用できるように検討中です。

衛星通信研修講座のごあんない

文部省及び国立教育会館発信

各講座とも、国内トップの講師による講座が受講できます。県立教育センターで衛星放送を受信し、研修講座を実施します。

「総合的な学習」「新学習指導要領」の解説など、今、最も欲しい情報が得られます。受講申し込み方法等は各学校へ文書で送付済みです。

〔センターが主催して行う講座〕

	実施予定日	研 修 名	対 象
1	7/7(水) 7/8(木)	情報教育基礎研修講座Ⅰ (小学校全般)	近隣小学校教諭 長期研修員(小学校)
2	7/30(金)	学校カウンセリング講座	長期研修員(教育相談)、小・中・高教諭
3	8/18(水) 8/19(木)	情報教育基礎研修講座Ⅱ (中学校美術)	長期研修員(中学校) 近隣校教諭(中学校)
4	8/20(金)	環境教育	小・中・高教諭
5	8/26(木)	生徒指導	県立学校生徒指導担当者
6	9/16(木)	情報教育	長期研修員(高校)、近隣校(教諭)
7	9/30(木)	教育課程 (総合的な学習の時間)	小・中・県立(校長・教頭・教諭) ※各教育事務所・義務教育課・県立学校教育課との連携
8	10/1(金)	中学校進路指導研修講座	中学校進路指導主事等、中学校教諭
9	10/7(木)	いじめ・不登校	長期研修員(教育相談)、小・中学校教諭
10	10/26(火)	人生論	長期研修員全員
11	11/26(金)	道德教育	長期研修員(小・中学校)、小・中学校教諭

〔本庁が主催し、センターで実施する講座〕

	実施予定日	研 修 名	対 象
12	7/23(金)	新教育課程説明会	小学校教諭
13	8/2(月)	新教育課程説明会 1日目	高等学校教諭 午前(総則・特別活動) 午後(情報・数学・理科)
14	8/3(火)	新教育課程説明会 2日目	高等学校教諭 午前(工芸・音・美・書) 午後(地歴・公民)
15	8/4(水)	新教育課程説明会 3日目	高等学校教諭 午前(保健体育・外国語)
16	8/6(金)	新教育課程説明会	幼稚園
17	8/9(月)	新教育課程説明会 1日目	中学校教諭 午前(総則・国語) 午後(社会・数学・理科・音楽)
18	8/10(火)	新教育課程説明会 2日目	中学校教諭 午前(美術・保健体育) 午後(技家・外国語・道德・特活)
19	8/11(水)	新教育課程説明会	高校(職業科) 家庭・工業・商業
20	8/12(木)	新教育課程説明会	高校(職業科) 情報・福祉・水産・農業
21	8/24(火)	新教育課程説明会	特殊教育 盲・聾・養護

産業教育課だより

～『自ら学び考える力』『生きる力』を育む～

【バイオ研究室】 當 山 一 男 (主任指導主事)

【食品分析研究室】 中 石 直 木 (指導主事)

はじめに

来る21世紀へ向けて、我が国は高度情報通信社会の発展、国際化および経済構造の変化等が進むなど大きく変わろうとしている。このような変化を踏まえ、国においては教育改革プログラムや教育課程審議会、理産審の答申などが出され、新学習指導要領の告示で今後の教育の在り方が示された。

本県においては創造性豊かで活力に満ち、ゆとりと潤いのある社会を築くために、新しい時代に的確に対応できる人材の育成が急務だといわれている。

とりわけ本県は歴史的にも地理的にも我が国の南の国際交流拠点として、その有利性を活かせる時代を迎えようとしており、若い産業人の育成を図る産業教育の在り方や長期的な展望に立つ専門教育の在り方を幅広く検討する必要があると思われる。

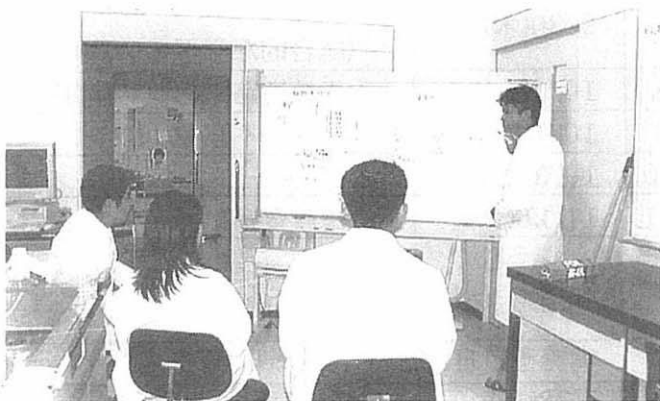
また、各専門高校では、生徒の多様化が目立つようになり、目的意識の高揚を図ることが大きな課題といえる。

このことから、各学校では生徒一人一人の個性を重視した教育を目指し、『自ら学び考える力』、『生きる力』を育む教育を推進するべきであると考えます。

平成11年3月に報告された第6期沖縄県産業教育審議会の中間報告によると「学校生活における課題と対策として「個に応じた授業」、「体験的学習の重視」、「少人数のクラス編成」や「習熟度別学習」などを積極的に取り入れ、～ 中略 ～さらに各種資格や検定等の取得に

取り組み、産業技術教育センターの効果的な活用を図るなど、各学校があらゆる工夫・改善を図る必要がある。」としている。同審議会はさらにセンターにおける教職員研修推進を奨励し、産業教育の進展に資するべきだとも述べている。

以上のようなことから産業教育課(＝産業技術教育センター)設置の意義は大きく、歴史は浅い(平成10年度設置)とは言えその責務は重いものがあり、日々研鑽に努めなければならないと課員一同が生徒実習指導および研究に余念がない。



課題検討会を重ねる

1. バイオ研究室(動物バイオ)の紹介

産業教育課は平成10年度4月よりスタートし、同時にバイオ研究室も開設された。これまで植物バイオ研修を中心に進められてきたが、今年度より新たに動物バイオ研修が加わり、バイオ研究室全体としては一段とグレードアップした。

研修の主な目的は「動物バイオテクノロジーに応用する機器等(マイクロコンピュータ等)の活用法、受

精卵の移植・核移植等に関する研修をととして技術の習得、指導力の向上を図る。」こととしている。

今年度は受精卵移植やDNA抽出に取り組み、畜産試験場とも連携を図り研修を行っている。



マイクロマニピレータの操作研修

バイオ研究室長期研修員

喜友名 朝 睦（中部農林高）

親 泊 達 也（北部農林高）

2. 食品分析研究室の紹介

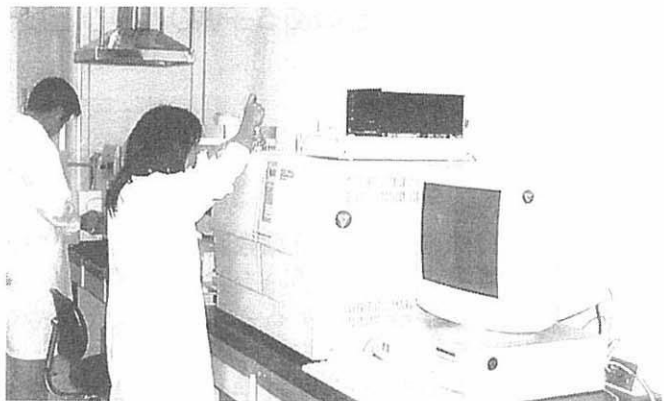
近年、食生活は大きく変容し、加工食品等の消費が増加しているが、食品と健康との関連や食品の科学性に関する消費者の知識は未だ不十分である。

したがって、より充実した食生活を送るためにも消費者の自覚や認識の改善が望まれるところである。そのために、本研究室は今年県内における食品分析の研究機関を目指して設置される運びになった。

研究室内には、質量分析計や高速液体クロマトグラフ、原子吸光光度計等の機器が整備され、大方の分析が可能である。これにより研修による人材育成のみならず、県外に遅れをとっていた食品分析も実施できることになり、食品産業への貢献も期待できる。

また、県産の農産物利用を活発にさせる上でも今後の研究が不可欠であり、『食』を生産する農業が、こういった食品産業との連携を図る

ことで農業自体の推進につながるものと考えられる。



質量分析計による分析研修

古来より伝えられる『医食同源』は沖縄県民として誇れる文化の一つであり、「食べる＝健康に生きる根幹の精神」を持って研究に励み、将来を担う生徒達へ食生活の健全化を呼びかけることの使命がある。食品に関する知識を習得させながら、同時に『生きる力』、『自ら学び考える力』を育んでいくことを大きなねらいとして、研究に取り組む日々が続いている。



原子吸光光度計操作研修

食品分析研究室長期研修員

宮 城 宏（南部農林高）

津 田 あかね（ ）

障害児の教育相談

～ 障害のある子供ひとりひとりのニーズにあった教育を求めて ～

【特殊教育課】 仲村 渠 修

特殊教育課（特殊教育センター）では、子供のすこやかな成長・発達を願って障害のある（疑いを含む）乳幼児，児童生徒の保護者や関係者に養育・教育及び就学等に関するさまざまな問題や悩みについての相談や嘱託医による医療相談を行っています。

本年度も(1)巡回就学・教育相談(2)来所相談・電話相談，(3)特殊教育諸学校に委嘱した就学相談員による相談等の相談活動を実施します。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

1 相談の対象

- ・ 目，耳，手足などの働きに心配のあるお子さん
- ・ ことばや知的な発達に心配のあるお子さん
- ・ 入園・就学に不安のあるお子さん
- ・ その他のことで，気になることがあるお子さん

2 相談の内容

- ・ 家庭における養育やしつけについて
- ・ 障害のある子供の生活や学習について
- ・ 保育所，幼稚園，小・中学校における指導について
- ・ 就学や進路について

3 相談の方法

(1) 巡回就学・教育相談

① 教育・心理学・医療等の専門家で構成した相談員が，直接県内各地の会場を巡回して相談を行います。



相談会場一覧

期 日	実 施 場 所	対 象 市 町 村
6月 2 日(水)	宜野湾市中央公民館	北谷町/北中城村/中城村/宜野湾市
6月11日(金)	八重山支庁庁舎	石垣市/竹富町
6月29日(火)	糸満市中央公民館	豊見城村/南風原町/玉城村/糸満市/具志頭村/東風平町
7月 9 日(金)	那覇市総合福祉センター	那覇市
7月16日(金)	宮古合同庁舎	平良市/城辺町/下地町/上野村/伊良部町
7月30日(金)	読谷村生き生き健康センター	恩納村/読谷村/嘉手納町/沖縄市
8月10日(火)	浦添市ハーモニーホール	浦添市/宜野湾市/西原町
9月 8 日(水)	与那原町社会福祉センター	中城村/西原町/南風原町/大里村/与那原町/佐敷町/知念村
9月14日(火)	北部合同庁舎	今帰仁村/本部町/東村/名護市/宜野座村/恩納村
9月24日(金)	具志川市復帰記念会館	金武町/石川市/具志川市/沖縄市/勝連町/与那城町
10月1日(金)	国頭農民研修所ホール	国頭村/大宜味村/東村

※ 該当児の調査結果に基づき離島3～4会場を追加予定。

(2) 来所相談・電話相談

① 直接、教育センター(特殊教育課)におこし
 いただいて相談を行います。

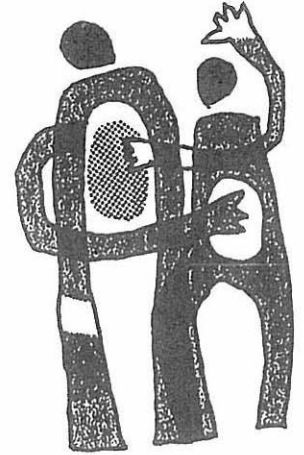
② 遠かったり、都合で来所が出来ない方、ど
 こで相談してよいかわからない方など電話に
 よる相談も受け付けています。

■ 嘱託医による医療相談

精 神 科	松 本 茂 幸	(国立療養所琉球病院院長)
整 形 外 科	高 良 宏 明	(琉球大学保健管理センター所長)
小 児 科	外 間 登美子	(琉球大学医学部教授)
耳鼻咽喉科	日 賀 久 雄	(日賀耳鼻咽喉科院長)
眼 科	石 川 秀 夫	(石川眼科院長)

■ 特殊教育課所員による教育相談

肢体不自由・病弱教育	横 山 久	主任指導主事
知的・情緒・学習障害教育	玉 城 惇	指導主事
視覚・聴覚・言語障害教育	仲村渠 修	指導主事
障害児教育全般	古我知 博 樹	研修員



(3) 就学相談員による相談

① 特殊教育諸学校に相談員を委嘱し、各地域
 にある養護学校等で教育相談を行います。

② 相談活動のほかに学校参観・体験入学等も
 行っています。

就学相談員配置校と就学相談員

◆ 沖縄盲学校	教諭	高 嶺 玲 子	◆ 大平養護学校	教諭	仲 村 稔
◆ 沖縄ろう学校	教諭	金 城 由美子	◆ 島尻養護学校	教諭	嘉 数 睦
◆ 名護養護学校	教諭	仲 村 智 子	◆ 西崎養護学校	教諭	平 良 たか子
◆ 美咲養護学校	教諭	普久原 佳 子	◆ 宮古養護学校	教諭	高 原 信 子
◆ 泡瀬養護学校	教諭	兼 本 タカ子	◆ 八重山養護学校	教諭	石 川 敏 子

費用は一切いりません。

相談日時：月～金曜日
 (9時～17時)

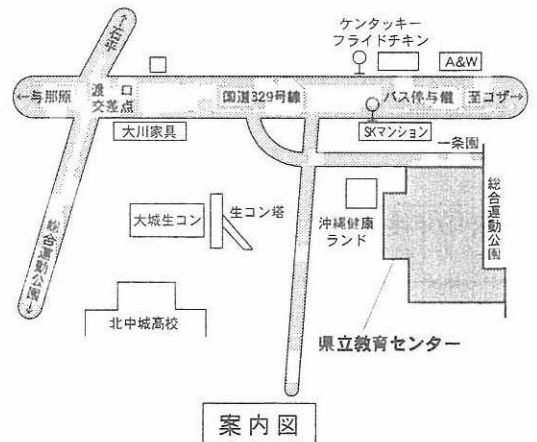
申込みのしかた

電話で申し込んで下さい

098-933-7555

内線505

沖縄県立教育センター 特殊教育課



案内図

交通案内

平成10年度県立教育センター刊行物一覧

平成10年度は所報はじめ下記の刊行物を発刊いたしました。刊行物は、6月には各学校や関係機関に送付してあります。ぜひご利用下さいますようお願いいたします。

平成10年度教育 センター要覧

教育センターの事業概要の紹介

平成10年度研修報告集録 (1年)

長期研修員(1年)の研修成果報告書

所報第34号

研究室だより(産業教育課、情報教育研究室、健康教育研究室)

研究紀要

各教科・各領域等に関する専門的・技術的研究等の実践的研究

所報第35号

研究室だより(短期研修講座、教育工学研究室、平成10年度前期研修員「研修テーマ」)

登校拒否に関する実践研究

登校拒否児童生徒への自然体験、社会体験の実践・研究及び適応指導教室の概要

所報第36号

研究室だより(特別活動研究室、初任者研修室、産業教育課、算数・数学研究室)

平成10年度障害児の教育相談

障害児巡回就学相談活動の事業のまとめ
来所教育相談のまとめ
心身障害児就学相談事業のまとめ

所報第37号

統計資料(インターネット関連、研修事業、教育相談、登校拒否、心の電話、障害児教育)

障害の特性と就学指導

各障害の特性(視覚、聴覚、知的、言語・情緒障害及び肢体不自由、病弱等)と就学に関する事項

平成10年度研究協力員 共同研究実践事例集

主事と学校現場の教諭による共同研究、教科領域の実践事例集

環境教育(中学校編)

理科における環境教育に関する資料と授業展開例

平成10年度研修報告集録 (前期)

長期研修員(前期・6ヶ月)の研修成果報告書

沖縄県の高校テクノセンター (産業技術教育センター)

産業技術教育センター(産業教育課)の事業概要・施設案内

平成10年度研修報告集録 (後期)

長期研修員(後期・6ヶ月)の研修成果報告書

その他 へき地・複式学習指導資料(第2集)
平成10年度移動教育センター
共同研究実践事例集(第2集)
リーフレット「沖縄の特殊教育」